

耳の日記念講演会開催

令和7年3月2日（日）に「耳の日」記念講演会を小豆島オリーブ公園サン・オリーブで開催しました。

この講演会は、3月3日の「耳の日」にちなんで、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会香川県地方部会と香川県障害福祉相談所が平成4年度から毎年この時期に開催しているものです。今年が30回目の開催となります。

当日は、約50名の方が参加され、メモや質問をされるなど、熱心に耳を傾けておられました。

講演会では最初に、香川大学医学部教授で日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会香川県地方部会長の星川広史先生から「耳はもちろん、匂いも味も。感覚器で楽しい人生を！」の講演があり、耳のしくみや難聴の原因などの具体的な話を聞くことができました。

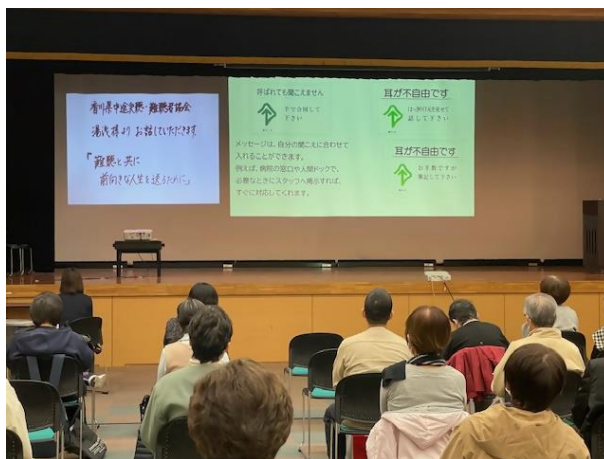
また、聞こえのほかにも、匂いや味覚、嚥下機能も認知症の予防などに役立つこととお話されました。講演中に来場者の方の味覚のチェックを実際にチョコレートで行うなど、会場は盛り上がりを見せていました。



続いて、香川大学医学部耳鼻咽喉科助教で香川県補聴器キーパーソンの高橋幸稔先生から、「健康長寿は耳から作れる!?知って得するミミヨリ情報」の講演がありました。健康寿命を伸ばすことがいかに大切かお話され、難聴をかかえている人は健常な方と比べて認知症のリスクが2倍あること、難聴と耳鳴りの関係などわかりやすく解説していただきました。また、補聴器と集音器の違いや補聴器の種類、補聴器の装用には練習を重ねることが重要であることもお話されました。

講演後の質疑応答では、複数の参加者から積極的に質問があり、講師の先生方から分かりやすいお答えをいただきました。

最後に、香川県中途失聴・難聴者協会より、「難聴と共に前向きな人生を送るために」というテーマのもと、協会の活動内容や体験談、県内のヒアリンググループの設置施設など、貴重なお話をいただきました。



また、会場後方には、耳の不自由な方のための各種補聴器が展示され、休憩時間や講演終了後には、認定補聴器技能者による補聴器相談も行われました。

講演会の開催には、多くの関係者のご協力をいただきました。

広報誌などで講演会のPR・協力などの後援をしていただいた小豆島町・土庄町の担当者様、ヒアリンググループの設置をしてくださった「香川県中途失聴・難聴者協会」様、要約筆記をしていただいた「NPO 法人香川県要約筆記サークルゆうあい」様、補聴器の展示・相談をしてくださった認定補聴器専門店様、大変お世話になりました。

*この講演会は県内を5つのブロックに分けて順番にまわって開催しています。

令和7年度は、令和8年3月1日に高松地区で開催予定です。多くの皆様のご来場をお待ちしています。